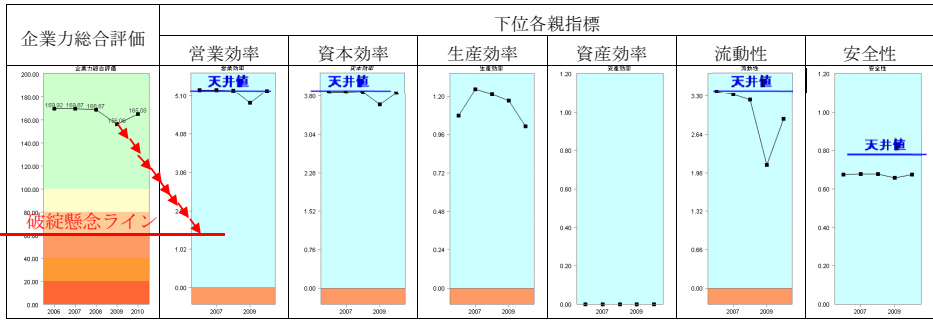


今回は、シスメックス株式会社を分析してみましょう。シスメックス㈱は、神戸市中央区にある臨床検査機器・検査用試薬・粒子分析機器・関連ソフトウェアなどの開発や製造・販売の会社です。



企業力総合評価は 169.92→169.87→168.87→156.06→165.08 と推移しています。リーマン・ショックでは 168.87 から 156.06 へと 12.81 ポイント下げ、悪化成り行き倍率 8 年（同じトレンドで企業力を下げたらあと 8 年で 60 ポイント以下の破綻懸念領域へ行くという指標）を付けています。

企業力総合評価の凹みは下位各親指標の凹みの大きいものを探せばわかります。この場合は流動性です。最近の過去のニュースで取り上げた多くの優良企業は、営業効率の下落をカバーするように流動性を上げていますが、このように下げているのは珍しいです。

営業効率（儲かるか指標）・資本効率（資本利用度の指標）は 2009 年以外は天井値を打っています。とても利益が上がる会社のようなようです。

生産効率（人の利用度の指標）は 2007 年以外悪化トレンドです。従業員を増やし続けています。

資産効率（資産の利用度指標）は、良くも悪くもありません。

流動性（短期資金繰り指標）は 2009 年までは悪化、2010 年反転しました。いずれにしても青信号内での動きです。

安全性（長期資金繰り指標）は天井値に近い、高いレベルを安定的に推移しています。

営業効率の下位指標を見てみましょう。

単位:百万円・%

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
売上高合計	87,887	101,041	110,724	111,842	116,174
売上総利益	51,148	57,544	65,328	71,004	73,694
売上高総利益率	58.20	56.95	59.00	63.49	63.43
営業利益	10,723	12,716	15,035	15,134	15,709
売上高営業利益率	12.20	12.58	13.58	13.53	13.52
経常利益	11,981	13,577	14,546	12,986	15,773
売上高経常利益率	13.63	13.44	13.14	11.61	13.58
当期利益	7,422	9,009	9,132	8,015	9,766
売上高当期利益率	8.44	8.92	8.25	7.17	8.41

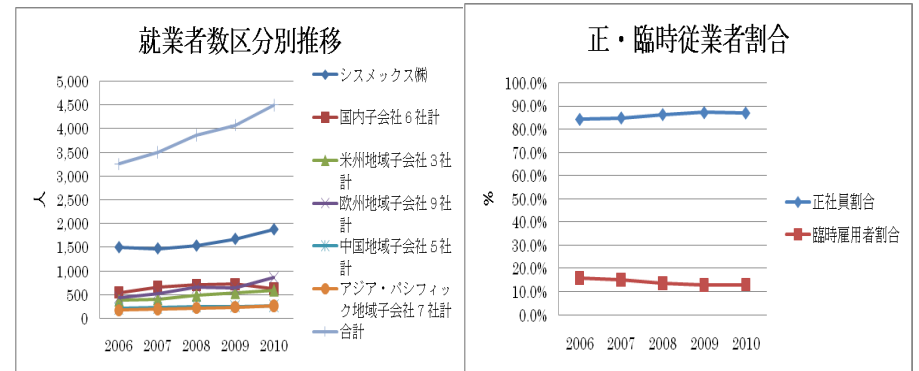
売上高経常利益率は 2009 年を除き、13%台で推移しています。売上高総利益率は 4 年間で 5.23%上がりました。5 年間の推移をみると、その会社が何に取り組み、成果を上げてきたかがわかります。

シスメックス㈱の生産効率は悪化トレンドです。これは、就業者（正社員と臨時雇用の正社員換算した人数の合計）を増やしているからです。攻めの経営を貫いているのです。

単位:円・人

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
総就業者数	3,255	3,501	3,860	4,072	4,496
売上高合計	87,887,000,000	101,041,000,000	110,724,000,000	111,842,000,000	116,174,000,000
1人当たり売上高	27,000,614	28,860,611	28,684,974	27,466,110	25,839,413
売上総利益	51,148,000,000	57,544,000,000	65,328,000,000	71,004,000,000	73,694,000,000
1人当たり売上総利	15,713,671	16,436,447	16,924,352	17,437,132	16,391,014
経常利益	11,981,000,000	13,577,000,000	14,546,000,000	12,986,000,000	15,773,000,000
1人当たり経常利益	3,680,799	3,878,035	3,768,394	3,189,096	3,508,230

それでは、就業者の地域区分別の増減、正・臨時割合を見てください。日本国内の人数は増えていますが、正社員割合も高くなっています。正社員に腰を落ち着けて仕事をしてもらいたい、という会社の姿勢が感られます。利益を出すために日本人の雇用を減らし、臨時雇用割合を増やす会社が多い中、長期視点にたった経営をされていることがわかります。



まとめ

数字というのは無機質ですが、数字を読んでいくと、そこには、人の決意、意思、行動、結果が表れます。シスメックス㈱が、人の健康を守るため、これからも素晴らしい経営をされていくよう願います。

編集後記 シスメックス㈱の基本戦略の1つに「グローバルニッチ No.1」というのがあるそうです。グローバル市場において、ある特定のニッチな領域で No.1 になることを目指しているのです。つまり、そういう強みを持つことなんですね。文責 MS
 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 4-9-21 SARUKI ビル 4F 猿木真紀子税理士事務所
 Tel.06-6631-4570 Fax.06-6631-7970 info@saruki-tax.jp http://www.saruki-tax.jp